

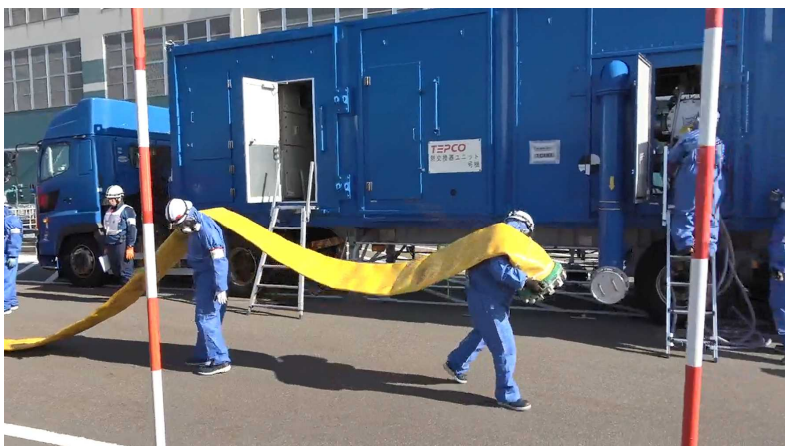
シーケンス訓練・大規模損壊訓練の結果 1/2

2024年2月22日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

- シーケンス訓練・大規模損壊訓練は、事業者が定めた保安規定に基づき、重大事故の発生および拡大防止のために必要な措置が実施出来るかを確認するもの。(2024年1月25日 お知らせ済み)
- 1/30～2/1でシーケンス訓練を、2/6に大規模損壊訓練を実施。訓練に関する報告書を取りまとめ、原子力規制庁へ2/14に提出。

<シーケンス訓練の結果> ※シーケンス訓練は、事業者が保安規定に定めた想定時間内に、緊急時対応が行えるかを確認するもの

日付	主な訓練内容	想定時間	実績時間
1/30	ガスタービン発電機からの給電	25分	24分
	低圧代替注水系(復水移送ポンプ)による原子炉注水	1時間10分	1時間
	淡水貯水池を水源とした消防車による復水貯蔵槽への補給	5時間40分	2時間49分
1/31	代替循環冷却(熱交換器設備)を使用した原子炉の冷却	9時間	7時間42分
2/1	格納容器ベント準備	45分	33分
	格納容器ベント操作	40分	36分



代替熱交換器へ接続するホース展開



格納容器ベント操作

シーケンス訓練・大規模損壊訓練の結果 2/2

<大規模損壊訓練の実施内容>

※大規模損壊訓練は、プラント状況把握、対応操作の選択等が的確に行えるかを確認するもの

- 原子炉建屋に航空機が衝突し、全交流電源が喪失。7号機主変圧器等で大規模な火災が発生するとともに、がれきが散乱するというシナリオのもと、対応者には事前に伝えずに訓練を実施。
- 緊急時対策所では対応戦術の確認・指示を行い、現場では消火用ルート確保のためホイールローダーを使用したがれき撤去作業を実施するとともに、消防車や高所放水車による消火活動を実施。



5号機緊急時対策所の様子



ホイールローダーを使用したがれき撤去



高所放水車の準備



消火活動